



床しき風

8月号



三島市立中郷小学校 学校だより

校訓 親切・責任

学校教育目標 やさしく・かしこく・たくましく 今を生きる「さとの子」

重点目標 **優** 相手の立場に立つ

【新しい学習指導要領】

本年度から、全国の小学校で新しい学習指導要領が完全実施となりました。学習指導要領とは、「何を学ぶのか」が示されている「学びの地図」です。新学習指導要領のキャッチフレーズは、「生きる力 学びのその先へ」です。キャッチフレーズには、子供たちが学校で学んだことを生かして自分の行きたい道を切り拓いてほしい、という願いが込められています。子供たちが社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、学校では次の「三つの力」をバランスよく育てていきます。

<育成すべき資質・能力の三つの柱>

- ・実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」
- ・未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」

新学習指導要領では、「何を学ぶのか」だけでなく、「どのように学ぶか」も示されています。学び方のキーワードは、「主体的・対話的で深い学び」です。

<主体的な学び>

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる

<対話的な学び>

子供同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める

<深い学び>

習得・活用・探究の見通しの中で、教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容の深い理解や資質・能力の育成、学習への動機付け等につなげる

コロナウイルス感染症防止のため、対話的な学習や体験的な学習に制限はありますが、子供たちは可能な学習活動範囲の中で生き生きと学び、考えを深めています。子供たちが確かな「生きる力」を身に付けるためには、学校と保護者と地域が一体となって取り組んでいく必要があります。お子さんが学校で学んできたことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。保護者の皆様の働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力となります。



子ども・教職員・保護者・地域の皆様の学校での様子を紹介します



7月8日(水)に中郷小学校区安全会議が行われ、三島警察署や市の地域協働・安全課、交通ボランティアの皆様、PTA校外交通指導部にご参加いただき、子ども達の安全について共通理解を図りました。



7月14(火)に中郷小、長伏小、中郷西中の3校で小中連携の会合を開きました。3つの学校が9年間にわたって同じ児童生徒を見据えた教育を推進するための、この地域独自の取り組みです。



7月13日から20日まで多目的ホールで「東日本大震災写真展」と「原爆と人間展」が開かれました。命を考える日に合わせて行われたイベントで、たくさん子ども達が命の重みを考える機会になりました。

8月の行事予定

3日(月)特別日課4時間 個人面談
4日(火)特別日課4時間 個人面談
5日(水)特別日課4時間 個人面談
6日(木)特別日課4時間 個人面談
夏季休業前給食最終日
7日(金)特別日課4時間
8日(土)~19日(水) 夏季休業
20日(木)授業開始 特別日課4時間

21日(金)特別日課6時間 給食開始

発育測定(5年)

25日(火)発育測定(6の1・2年) 尿検査2次

26日(水)発育測定(6の2・1年)

27日(木)発育測定(4の1・4,5組)

28日(金)特別日課6時間

31日(月)発育測定(4の2)

